

年間動員15万人! 累計動員200万人突破!!
演劇集団キャラメルボックス
究極のファンタジーサスペンス!!
生の舞台を超えた“リアル”が映画館に登場!

LiveSpire

嵐になるまで 待って

2009年2月21日より 全国の映画館にて順次上映
全国共通鑑賞券 好評発売中! ¥2,000 (税込/当日窓口料金 ¥2,500)
<http://www.caramelbox.com/livespire/>

映像監督 佐藤克則 舞台脚本・演出 成井豊 原作 成井豊『あたしの嫌いな私の声』(ポプラ社刊)

CAST/渡邊安理 細見大輔 西川浩幸 温井摩耶 三浦剛 石原善暢 阿部丈二 小林千恵 久松信美 土屋裕一(*pnish*)

舞台写真撮影 伊東和則 2009/2K DCP/カラー/ヴィスタサイズ/5.1ch/124分 上演 演劇集団キャラメルボックス 配給 ソニー株式会社 ©株式会社ネビュラプロジェクト/ソニー株式会社 2009



ソニーの映像技術が
演劇の可能性を広げた!

LiveSpire

これまでの舞台映像がない、
緊迫感あふれる新たな演劇の世界を、
あなたの目で、耳で、体で
感じてください。

セリフで、音楽で、そして手話でつづられるこの物語はとことんまで美しい。
動きひとつが哀しく、胸に迫る。——山田真哉／『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』著者

ライブの緊迫感がすごく表現されていてカーテンコールまで見たくなりました。

演劇に対して抵抗がある人にこそオススメ。——中井美穂／アナウンサー

テンポの良い展開と笑いで心地よく作品に引き込まれてしまった!!

人間のエネルギーが爆発したような映画。——YOSHIKI (175R) / ミュージシャン



交錯するそれぞれの “人が人を想う気持ち”

STORY

声優志望のユリは、アニメのオーディションに見事合格。その顔合わせの席には、俳優・高杉と作曲家・波多野、その姉でろう者の雪絵がいた。そこで高杉と波多野は激しく言い争ってしまうことに。雪絵にも詰め寄り、はずみで手を上げようとした高杉に対し、もの凄いい形相で「やめろ!」と叫ぶ波多野。その時、

それを見ていたユリの耳には波多野の“もうひとつの声”が聞こえた。「死んでしまえ!」と。翌日、高杉は行方不明となる…。4度にわたり再演されたキャラメルボックスの人気舞台の映画化。2008年夏サンシャイン劇場での公演を完全収録・特別編集した、オリジナルのデジタルシネマ作品となっている。

キャラメルボックス看板俳優・西川浩幸

Livespire「嵐になるまで待って」を語る

僕も映画館で観ます!

想像の何十倍も楽しかったです! 映像化と聞いて抱いたイメージとはまったく違いますね。僕はあまり映像作品になった自分の姿は見ないんですが、これは普通に映画館でまた観たいと思いました! もう何十回も演じて、知り尽くしている作品なのに、また新しい『嵐になるまで待って』を観せてもらいました。同じ作品なのに違う見え方がある。だから、舞台を観た人にも観てほしいですね。細見君の鬼気迫る姿なんて、生で観るより迫力があるんじゃないかな。

自分が見ていた風景と似ている

映画では、役者どうしが舞台上で感じる本当の距離感が再現されていますね。Livespireでは、僕らが伝えたいと思っていたことがそのまま映し出されていると感じました。それは演じている側にとっては非常に嬉しいことで、「やっと観てもらえた!」と思いましたね。セリフがないときの表情とか、会話から離れたところでの演技とか、目の動きでわかる感情とか。客席からの視点ではなく、自分が舞台上で生で感



じ、見ている世界がスクリーンに再現されていたんです。人間の視線の動きより速いスピードのカット割で見せるシーンなんかは、肉眼では追えない世界も表現してくれているんですよ。

舞台よりも観に行きやすいかも!?

舞台だと観られるお客さんの数は限られます。だから、舞台を観に来られなかった人が今回は観に来てくれるといいな。舞台より料金が安いというのもいいですね。こういう形で舞台が身近になるなんて素敵なお話だと思います。あと、元となった公演はもう4度目の再演となった舞台ですが、4度目だから今回はいいや、と観なかった人にも映画館で観てほしいです。

母にも前売券を贈ります

演劇関係者も積極的に観るべきです。こんなに楽しいんだということをもっと伝えていかないと。見事に『嵐になるまで待って』という映画になってるんですよ! 舞台というものが、生とLivespireで2度楽しめるというのはすごいことだと思います。Livespireの『嵐になるまで待って』は、生の舞台よりもっと生だと思いました。ライブよりもライブな世界がそこにはある。僕は母にチケットを贈りますよ。舞台のほうを観に来られなかったんでね。

2009年
早春公開!

2月21日~27日
新宿駅、新宿三丁目駅伊国屋書店近く
新宿ピカデリー
03-5367-1144

3月7日~
プランタン銀座デパートとなり
丸の内TOEI②
03-3535-4740

2月21日~
阪神・岩屋駅、JR難波駅ブルメール2階
109シネマズHAT神戸
0570-011-109

4月11日~
名駅、ささしまライブ駅すぐ
109シネマズ名古屋
052-541-3109